

惟ふる吾が工場が多年労働問題解決に対する誠意と、常に従業員福利増進の努力つゝあるは既に已に識者の知れる所なり。

然りと雖も更に労働条件の改善と生活の向上とを企図するは、素より時代の趨勢ありて豈独り當工場が時代を逆行するものならんや。

それと一方我國産業は日を追ひて苦境に沈淪し、工場閉鎖の已むを得ざるもの頻々たる此至極の國難の時、當り且つ吾工場経営の困難殆んど筆舌の尽し難き所は、更に團體的勢力を善用し、罷業の爲りの罷業を爲し、過當の要求をなすに於ては、已むなく國家産業の爲め、且つは従業員の反省を促す爲め断乎たる所置之を以てざるを得たりしなり。

今や内外國の競争激甚し、欧米諸國に於ては此大不況を切抜けんが爲り盛ん労働賃金引下となり、或は英米、独、仏、白、露等各國皆八時間制を廢止し労働時間の延長を爲し、國力の恢復と世界産業戦に雄飛せん事、労働協力、努力しつゝありとなく。

然るに吾産業界の狀態を見れば如何、欧米諸國に於ては原料機械、器具等其は自國の豊富に産するに反し、我國に於ては、其原料の大半を國外に仰ぐのみならず、機械器具に至りても其精巧なるものに至りては殆んど然らざるなし。併し労働銀と物價高とに於て他は其比を見ず。斯の如き狀態たるに於て何を以て欧米諸國に對抗せんとするか。其体力に於ても到底欧米労働者の肉体的優秀に比すべきも非ず、唯々彼等と對し雄飛するの道は、欧米諸國が労働運動の波頭つゝあるの際、吾國労働者も混然一体を爲し、以て奮闘努力するの外無かりしなり。

然るに産業上統一的條件に於て貪弱なる我國が最近に至り思想上の激変を來し、彼も亦て爭議頻発するに至りては、我帝國産業の前途誠に憂慮堪へざる處なり。

斯かる國家重大の秋に際し、一大不祥事を惹起し、市民各位、及び華客に對し、多大なる迷惑を及ぼし、調停者並に官憲に對し、一方ならぬ御心労を勉めたるは、當工場として、正に萬謝する所なり。